

ジャーナリストが伝える

環境とビジネスの最新動向

～企業や市民は、リスクとチャンスにどう向き合うべきか～

気 候変動や海洋プラスチック問題など地球環境をめぐる脅威が現実のものとなり、企業や社会はいま、早急な対応を迫られています。世界では、学校ストライキのように、若者たちによる新たなうねりも起きています。日本では、SDGs、ESG 投資、TCFD に対する関心が、急激に高まっています。この連続講座では、第一線で活躍する専門家と現役のジャーナリストが、環境とビジネスをめぐる国内外の最新動向を報告、その背景を解説するとともに、対応方法を考えます。具体的には、Z 世代と呼ばれる若者の動向、再生可能エネルギーや金融などビジネスをめぐる動き、国連 IPCC の特別報告書による新たな科学的知見、地域循環経済の具体的事例などを取り上げます。

講座全 **5** 回 毎週 **水曜日 19:00-20:30** フィールドワーク **1** 回 終日 各回定員 **30** 名



Youth 環境アクティビストが伝える 気候変動アクション

講師
清水 イアン 環境アクティビスト / Spiral Club
今井 絵里菜 神戸大学 / Fridays For Future Kyoto



IPCC 2つの特別報告書を読み解く

講師
三枝 信子 国立環境研究所 地球環境研究センター センター長
IPCC SRCCL 執筆者
榎本 浩之 国立極地研究所 国際北極環境研究センター 副所長
IPCC SROCC 執筆者



激動の日本の再生可能エネルギーの最新事情

講師
今西 章 JFEJ 理事
エネルギージャーナル社「創省 蓄エネルギー時報」編集次長
廣町公則 エネルギージャーナリスト
「ソーラージャーナル」エディトリアルディレクター



地域でSDGs・サーキュラーエコノミー

講師
渡部 健 めぐるでんき株式会社 代表取締役社長
松木 喬 JFEJ 理事 / 日刊工業新聞 記者



「ESG」×「投資」が目指すもの

講師
河口 真理子 株式会社大和総研 研究主幹



フィールドワーク 地域循環共生圏

場所 「水社の郷」
茨城県つくば市水守 1605-2
<http://mimorinosato.com/>

集合場所 東京駅（予定）
※参加人数によって変更あり

集合時間 午前 **9:30**

視察対象施設について

太陽光パネル事業を進める農業生産法人。環境にやさしいエネルギー事業だけではなく、朝鮮人参などの換金性作物の栽培を通じて、高齢者でも働ける雇用の場を提供し、地域活性化に貢献しています。シェアリング事業として国内最大の太陽光パネル事業で、韓国やベトナム、台湾などの視察団が相次いでいます。

会場

地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)
東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F
TEL : 03-3407-8107



申し込み先

「日本環境ジャーナリストの会」のホームページ
<http://jfej.org> からお申込み下さい。

お申込みページ用 QR コード ▶▶▶

FAX の場合は、

- ① お名前
- ② 連絡先電話番号
- ③ メールアドレス

を記載の上、**03-5825-9737** までお送り下さい。



参加費

一般：2,000 円/各回、6 回分一括払い 10,000 円
学生は半額、日本環境ジャーナリストの会会員は無料
※11/17 のフィールドワーク費用は交通費・昼食代（実費）がかかります。

問い合わせ先

☎ **03-5825-9735** ✉ jfej@gef.or.jp
一般財団法人 地球・人間環境フォーラム